

安全号 にじぐみだより

社会福祉法人大和善隣館
幼保連携型認定こども園
松陽こども園

R5. 8月(にじ組 渡邊 春嘉)

松陽こども園では教育・保育方針に『三つのゼン(安全・自然・積善)』を掲げています。子どもたちが健康・安全で情緒の安定した生活が出来るように心の土台を育む(安全)、本物の自然に触れ、深い感動と豊かな感性を育てる(自然)、善悪の判断等や道徳性の芽生え(積善)を育むことにより、教育・保育目標の『心身ともに健やかな子ども』の育成へと繋げていきます。今回は、「安全」についての子どもたちの様子をお知らせします。

♡信頼関係を大切に♡

「安全」には身を守る安全と心の安全(安心)が込められています。そこで、にじ組では新年度が始まり、「子どもたちの心の安心」を大切にしようと保育者間で話しました。

先日、お昼寝の時間。保育者がHちゃんのそばに行き背中をさすっているとA君が「先生、僕もトントンしてほしい」と話しました。保育者が「Hちゃんの次でもいい？」と声をかけると少し寂しそうな表情を見せたA君でした。そこで、「じゃあ先生のお膝で抱っこして待ってる？」と尋ねると、「うん♪」と笑顔に。A君は保育者と向かい合わせになって膝に座ると保育者にぎゅっと抱きつき「えへへ♡」と少し甘えた表情で保育者の顔を見ていました。園では一番大きな年長児ですが、まだまだ5歳。朝、お家の人と離れることが淋しかった時、疲れて調子が出ない時、友だちと喧嘩をして胸がモヤモヤする時、甘えたい時など、子どもたちを膝にのせたり抱っこしたり。そんな触れ合いの中で、子どもたちにとってにじ組が「安心できる場」になってくれたらと思っています。その様な中で、「なにかあっても先生が守ってくれる」という安心感から、年長児としてたくましさを発揮し、色々な遊びに挑戦することが出来たらと思っています。これからも、たくさんぎゅーっ♡をしたいです。



♡認めてくれる人がいる♡

先日のハートタイムのお題は「〇〇さんの素敵なおとこころ」でした。その日は一とタイムでお友だちに「いつも優しくしてくれるところがすてき」と言われたRちゃん。すごく嬉しそうに、そして照れた表情で下を向いていました。保育者が「Rちゃん、嬉しいね♡そんな時は『ありがとう』って嬉しい気持ちを伝えていいんだよ」と声をかけると、「...、ありがとう。嬉しい。」と素直に嬉しい気持ちを言葉にしていました。お友だちに認められるって嬉しいですね。自分のことを見てくれてる友だちがいる。そんな思いが、子どもたちにとって園が「安心できる場所」になるとよいです。



ありがとう♡

ほく、先生のステキな所も言えるよ！

♡自分の体を守ろう♡

遊びの中で、「自分の体を守る」ことを意識できたらと思っています。園庭では手と足の力で登り棒に登りきったり、バランスを保ってわんぱく山を上り下りしたり、まめができるくらい何度も雲梯に挑戦をしたりと様々な遊びに挑戦する中で、げんきな体作りに繋げていきたいと思っています。みんなでやる鬼ごっこやドッジボールでは友だちと遊びを楽しむ子とはもちろんですが、避ける、止まる、走りながら周りを見る力など様々な動きも培われています。このような子どもの育ちを考え、環境をつくっていく事で、「げんきなからだ」を作っていきたいと思っています。

また、身体作りだけでなく、子どもたちが「自分の体を守る」ということを考えることも大切にしています。「どうして水分補給は必要なの？」

「どうして、プールに飛び込んだら危ないの？」など、子どもたち自身が自分で考える機会を持つことで、その経験が遊びの様々な面でも「身を守る方法を自分で考える」ことにつながってほしいと思っています。



♡安心できる友だちの存在♡

～夏祭り当日でのAちゃんとK君のやりとりから～

夏祭り当日。いよいよお客さんが来るという事で、子どもたちの表情から期待が感じられる子がいれば、少々緊張した様子の子もいました。

〈屋台にて〉

Aちゃん「お客さん来たね」…緊張した表情

K君「.....」…「僕も緊張しているよ」というような笑顔

その時、ヨーヨーエリアからR君の「いらっしゃいませー！」

という大きな声が聞こえてきました。R君の声を聞き、次々といろんなお店から「いらっしゃいませ」の音が出始め、段々と会場が盛り上がり始めました。(この光景は、子どもたち同士で自然と背中を押し合い、勇気を与えあっているようでした。)

そして、その様子を見たAちゃんは・・・

Aちゃん「いらっしゃいませ。」…小さな声でしたが声をかけ、そして、K君の方を見てにこり♡

K君「いらっしゃいませ」…Aちゃん笑顔に緊張が和らいだのかな？

Aちゃん「いらっしゃいませー！」…今度はとても大きな声!! 勇気が湧いたのかな？

Aちゃん、K君一緒に「いらっしゃいませー！！」

当日までの過程の中で、「一緒に協力しあった」という2人の思いから絆が生まれたこと。そんな絆で結びついた友だちの勇気ある姿が、互いに背中を押し合ったように思います。園生活では、このようなお友だちとの絆が様々な場面で「安心」を与えあっているようです。



小学校へ向けて取り組んでいます！

小学校に向けて、「自分の身の回りのことは自分でできるようにする」ことを意識しています。毎日、降園前には次の日の予定を子どもたちに伝えるようにしています。その中で、子どもたちが次の日の遊びを把握し、お家でも持ち物の準備に意識を向けられたらと思っています。

そこで、ぜひ、ご家庭でも登園カバンの準備をお子様と一緒にこなしてもらえたらと思います。「なぜ、その持ち物が必要なのか」と考え見通しを持って準備することで、身の回りのことを自分でやる習慣がついていくとよいですね。



毎日鞆に入れてくるもの

POINT!!

- ・前日に着替えた衣服の補充も忘れずに☆
- ・マイバック等は丁寧に畳んで入れることを意識できると良いですね。